

「論語」知っていますか？

松江で小学生が親しむ活動

みなさん、「論語」を知っていますか？ 今から約2500年前の中国にいた思想家の孔子とその弟子たちの会話や行動を記した本で、古典の一つとして今も多くの人に読まれています。

普及会の小谷忠延さんから、「論語」のことは紹介してもらいました。みんなも覚えて言ってみよう！

「子曰 父母之年 不可不知也 一則以喜 一則以懼」(子曰く、父母の年は知らざるべからず。「は則ち以て喜び、一は則ち以て懼る」)

孔子先生はおっしゃいました。親の年はちゃんと覚えておくんだよ。そして毎年親のたん生日をむかえる度に、元気で生きてくれていることに感謝しましょう。親もだんだん年をとっていき、おじいさん、おばあさんになっていくのだから、大切にしなければならんだよ。



大きな声で「論語」を読む小学生たち。2、3回読めば紙を見なくても覚えられるそうです

その論語に、松江市内の子どもたちが親しんでいます。八雲町の放課後児童クラブでこのほどあった論語を読む会には小学生15人が参加しました。

大きな口を開けて読んでいた八雲小2年の来海拓哉君(8)は「大きい声を出してつかれたけど、ほめてもらってうれしい」と笑います。同小4年の深江瑞稀さん(10)は「最初は『何だ？』と思ったけど、お経みたいでおもしろい」と話してくれました。

論語に親しむ活動に取り組んでいるのは「めだか論語普及会」のみなさんと、小学生と一緒に論語を読んだり、意味を教えたりします。

「論語」の中には「お父さんお母さんを大切にしましょう」「思いやりの心を持ちましょう」といった、学校や家での生活に欠かせないことばがつまっています。

「子曰 徳不孤 必有鄰」(子曰く、徳は孤ならず。必ず隣あり)

孔子先生はおっしゃいました。良いと思ったことは自信を持ってやりなさい。良い行いを続けていけば、ひとりぼっちになることはありません。必ず認めてくれるいい仲間ができます。

「子曰 君子周而不比 小人比而不周」(子曰く、君子は周して比せず、小人は比して周せず)

孔子先生はおっしゃいました。立派な人物は、あらゆる人を公平に見て、どんな人でもわけへだてなくつき合うものだ。えごひいきばかりするものは、つまらない人間のすることだよ。